

担い手通信

第43号
令和5年3月発行

大仙市 農林部 農業振興課
大仙市大曲花園町1番1号
電話：0187-63-1111
FAX：0187-62-9388

今回のラインナップ

- ★大仙農業元気賞表彰式並びに大仙市農業研修会を開催します
- ★スマート農業等に関する連携協定を締結しました
- ★理事変更（重任・再選）登記について
- ★大仙市パソコン農業簿記講習会を開催しました
- ★直播栽培導入推進事業 実績検討会・報告会を開催します
- ★収入保険に加入しませんか？
- ★農業研修生を募集しています

大仙農業元気賞表彰式並びに 大仙市農業研修会を開催します！

参加をご希望の方は、農業振興課または最寄りの各支所農林建設課へ令和5年3月15日（水）までお電話にて申込をお願いします。参加料は無料です。

- 日時：令和5年3月22日（水）午後2時00分～午後4時30分
- 場所：大曲交流センター（大仙市大曲日の出町2丁目7番53号）
- 内容：第15回大仙農業元気賞表彰式
受賞者：杉山 堅司さん（大曲地域）
佐川亜希子さん（協和地域）
伊藤 稔浩さん（仙北地域）

令和4年度大仙市農業研修会

- (1) 取り組み・成果報告
 - ①大仙市新規就農者研修施設令和4年度研修修了生 8名
 - ②大仙市農業者ビジネス塾受講生 2名
- (2) 講演
 - ①「水田農業の今後について」（仮題）
講師：東北農政局秋田県拠点
地方参事官 田口 将之 氏（予定）
 - ②「スマート農業の実現に向けた取組について」（仮題）
講師：株式会社クボタ アグリソリューション推進部
営農技術課 技術顧問 及川 一也 氏（予定）

大仙農業元気賞とは

「革新的技術や新しい作目の栽培への取組等により成果を上げ、他の農業者の模範となっている」、「集落や地区内、各関係団体等においてリーダーシップを発揮している」、「将来の大仙市農業を牽引する農業者になり得る」おおむね50歳未満の若手農業者に対する市の表彰制度です。

大仙市、株式会社クボタ、株式会社秋田クボタ スマート農業等に関する連携協定を締結しました

スマート農業の推進や若手農業者の育成などを目的に、昨年12月、東北地方の市町村では初めてとなる、株式会社クボタ及び株式会社秋田クボタとのスマート農業等に関する連携協定を締結しました。

本市では、農業従事者の高齢化が進んでいることから、担い手不足の解消に向け、作業の省力・低コスト化やスマート農業への展開を進めており、これまでも農研機構東北農業研究センターとの連携による水稲直播栽培の実証検討において、両社より多大な協力をいただいています。

今般の協定締結を契機に、三者が持つ資源を有効に活用し、連携・協力しながら、本市農業の課題や方向性について共有し、地域農業の更なる振興に結びつけていきたいと考えています。

■連携協定項目

- (1) スマート農業の推進 (2) 担い手の確保・育成 (3) 農産物の高付加価値化

大仙市ではスマート農業実践のためRTK基地局を設置します。令和5年6月から試験運用し、一般農家への供用開始は令和6年度からの予定です。通信エリアは大仙市西仙北庁舎を中心とした半径20km圏内ですが、今後、秋田県仙北平野土地改良区が大仙市東部地域に設置を計画しているRTK基地局と合わせると、おおむね大仙市の全域が通信エリア内に入ります。

※RTK（Real Time Kinematicの略）とは、地上に設置した基地局からの位置情報データによって、高い精度の測位ができる技術のことです。

従来の人工衛星（GPS等）のみの位置情報では30cm以上の誤差が生じますが、RTK基地局の設置により、誤差2～3cmの高い精度での作業が可能となります。

◆スマート農機の導入効果の例

田植作業：自動操舵により誰でも正確（真つすぐ）な植付が可能となります。

播種・防除・代かき作業：作業幅に合わせて自動誘導を行うことで重複作業が防止できコスト低減や省力化に繋がります。

共通作業：①ハンドル操作がなくなり、疲労軽減・作業精度の向上に繋がります。

②一度作業した走行ラインの登録が可能となり、次回以降も登録内容を読み出すことで誰でも同じ作業が可能となります。



(左) 株式会社クボタ 執行役員 農機国内営業本部長 飯塚智浩 様
(中央) 大仙市長 老松博行
(右) 株式会社秋田クボタ 代表取締役社長 白石光弘 様

～農事組合法人の
皆さん、忘れずに!～

「理事変更(重任・再選)登記」

農事組合法人は、その設立登記の後、①名称、②事務所所在地、③理事の氏名・住所、④事業内容、⑤地区、⑥出資1口金額、⑦公告の方法、⑧出資口数、⑨払込済出資総額のいずれかに変更があった場合、変更登記を行わなければならないことが農業協同組合法(農協法)で定められており、①から⑦については事由発生後2週間以内、⑧及び⑨については事業年度終了後4週間以内に登記しなければなりません。

このうち、③「理事の氏名・住所」については、定期総会時の役員交代に伴って特に変更が生じやすい部分であり、理事が交代して別の方になった場合はもちろん理事変更の登記が必要ですが、**理事が重任(再選)となった場合も、その都度登記が必要となります。**

理事全員が再選された場合でも、「通常総会終了とともに任期を迎え一旦退任し、改めて理事として選任された」と解釈されるため、変更登記(重任・再選登記)が必要となります。この登記を怠った場合、農協法の規定に基づいて役員が過料に処される場合がありますので、ご注意ください!

大仙市パソコン農業簿記講習会を開催しました



令和4年度大仙市パソコン農業簿記講習会を今年1月11日(水)に秋田県農業共済組合仙北支所で開催しました。開催にあたり多数のお申込みをいただき、大変ありがとうございました。

講習では、パソコン農業簿記ソフト(ソリマチ株式会社「農業簿記11」)を使用し、日々の記帳入力から税金申告の決算処理まで実習を行いました。また、税務署の職員の方より、青色申告と税務申告に係るポイントや令和5年10月1日から開始されるインボイス制度(適格請求書等保存方式)等についてご説明いただきました。

市では今後も本講習会を開催していく予定ですので、時期が近付きましたら市広報でお知らせします。



直播栽培導入推進事業 実績検討会・報告会を開催します

参加費無料、当日の参加も可能です。

【日時】令和5年3月14日(火) 午前10時～

【会場】大曲交流センター

【内容】東北農業研究センターによる水稲無コーティング
直播の紹介と実証試験の報告など

収入保険に加入しませんか

「収入保険」は、青色申告を行っている農業者(個人・法人)が加入できる保険制度で、自然災害・ケガや病気・倉庫の浸水・盗難や運搬中の事故・市場価格の低下など農業者の経営努力では避けられない収入減少を補てんする仕組みです。

「収入保険」の詳細内容は、NOSAIまでご相談下さい。

※「収入保険」に加入するためには、青色申告を行っている必要があります。青色申告は「正規の簿記」の場合は55万円(優良な電子帳簿の要件を満たす場合は65万円)、「簡易な方式」の場合は10万円を所得から控除することが可能です。

秋田県農業共済組合 仙北支所 電話 0187-63-1066

新たに就農を希望される方へ 農業研修生を募集しています

新たに農業を始めたい方のための農業研修制度があります。

農業技術指導員から指導を受けながら作物を栽培し、農業に必要な技術・知識を学ぶ実践研修となります。研修期間は1年(最長2年まで延長可:2年研修を推奨しています)で、研修奨励金の支給制度もあります。身近にご関心のある方がいらっしゃいましたら、是非ご連絡ください。

■対象/市内在住の原則50歳未満で、研修修了後に市内で農業を営む方
■募集人員/若干名

■研修期間/令和5年4月1日から令和6年3月31日まで
(令和7年3月31日まで延長可)

■研修場所/大仙市新規就農者研修施設
東部(太田地域)または西部(西仙北地域)

■研修奨励金/月額75,000円(予定)

※研修中は国の制度である就農準備資金:年間150万円(最長2年間)の対象となりますので、どちらかを選択して受給することができます。

■申込期間/令和5年3月17日(金)まで

【問い合わせ・申込み先】

大仙市農業振興情報センター 電話 0187-86-9111